



フリーガンに"にらみ"

大分市街 14台

防犯カメラ設置開始

W杯を間近に控え、大分で、六カ所十四台のカメラが市W杯支援事業実行委員会が市街中心部でフリーガン(暴力的なファン)らに防犯カメラを設置する工事を始めた。二十四日まで工事を終え、六月一日に運用を始め、設置期間は二十日まで。

設置場所は、都町に三カ所、ガレリア竹町、セントホルタ中央町、府内アークパークに各一カ所。設置期間は二十日まで。

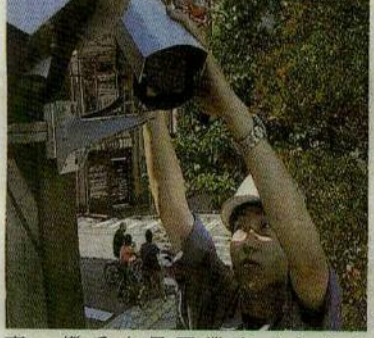
設置費、通信費など計約七百万円。県警の協力を得て運営する。映像は大分中央署のパソコンモニターに送られ、同署生活安全課が二十四時間態勢で監視する。



市内6カ所に取り付けられる防犯カメラ。24時間態勢で監視

監視カメラ14台設置

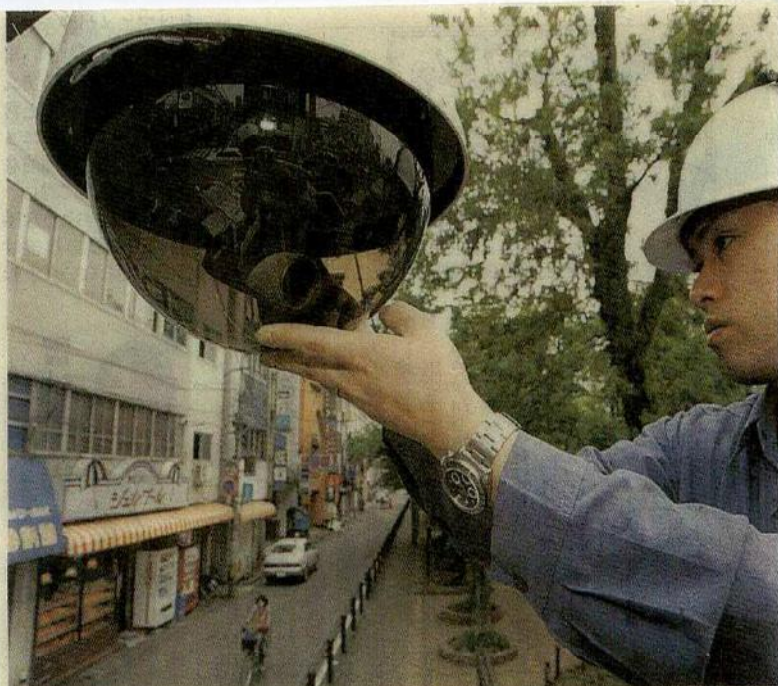
大分市が



大分市は二十四日、サッカー・ワールドカップ(アン)対策として、市中心部の繁華街や公園など六カ所に監視カメラ計十四台を設置する作業を終えた。六月一日に稼働し、大会が閉幕する同三十日に撤去する。二十四日は、市の委託業者

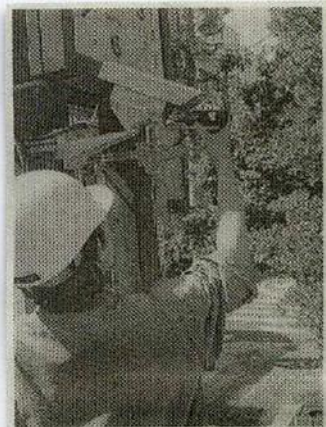
が府内町の「ふないアーク」の「パーク」の時計台の柱(高さ約三メートル)に二台を取り付けた。監視カメラから電話回線で送信される映像を大分中央署員が二十四時間態勢でチェック。万一、トラブルが起これば出動する。

岡野俊英・同市企画部次長は「ライバシーの問題もあると思うが、市民の不安を解消するための一時的な措置」としている。



監視カメラ街頭に設置

大分フリーガン対策?



W杯開催地の大分市は24日、繁華街の街頭に監視カメラの設置を終えた。「フリーガン対策に必要」という大分商工会議所の要望に応じて計14台を取り付けた。6月1日から稼働するが「過剰反応では」との声もある。

大分中央署のモニターで24時間体制で監視する。大分スタジアムである決勝トーナメント1回戦(6月16日)の翌日に撤去する。市企画部の岡野俊英次長は「暴動の発生などをいち早く把握するのが目的」と話す。

フリーガン対策に取り付けられた監視カメラ—大分市府内町で

フリーガンにお目付け

W杯あと6日



関係記事5・10面

サッカー・ワールドカップ(W杯)期間中のフリーガン対策として大分市は22日から、同市内の繁華街6カ所に監視カメラの臨時設置を始めた。来月1日から、運用を開始、大分中央署が遠隔操作で24時間態勢でモニター監視する。大分での試合の終わる6月中旬に撤去するという。

カメラはカプセルに入っており、映像は個人が特定されない精度という。予算はレンタル料など600万〜700万円。大分市郡町など繁華街の電柱に高さ約4・5メートルの場所に設置、近くにはカメラ設置の告知の張り紙をする。

ガレリア竹町ドーム広場

カメラ設置

い」としている。などを研究した上で昨年

同組合には近年、ベン末、市にカメラ設置を要
チなどに長時間居続ける望。警察など関係機関と
人や、若者の騒音などにの調整が終わり、今月上
対する苦情が多く寄せら旬、大分市からカメラ設
れていた。広場は市道で置に必要な道路占有許可

ちゃんと見てますぞ!!

大分市竹町通商店街振もあり、昨春秋、道路管を得た。

興組合(矢野利幸理事長) 理者の大分市がベンチを カメラは国・県の補助
は二十三日、ガレリア竹 撤去して以降、ごみの散を受けて設置。広場を囲
町ドーム広場に防犯カメ 乱は減ったが、「夜は怖むように配し、街内でモ
ラ十機を設置した。県内 くて歩けない。警備の強ニターする。既にカメラ
の商店街では初めて。同 化を」(市内の二十代女の運用規定を設けてお
組合では「安心・安全で 性)などの声もあった。り、刑事事件など特別な
美しい街づくりを進めた 同組合は他都市の事例 場合を除いて目的外使用



県内の商店街では初めて防犯カメラを設置した竹町ドーム広場＝大分市竹町通商店街

しないなど、プライバシーに配慮する。

一昨年、長崎市で起きた男児誘拐殺人事件では、商店街の防犯カメラが事件解決の決め手になった。

同広場は市内最大の歓楽街・都町にも近く、待ち合わせやイベント会場として多くの市民に利用されており、矢野理事長は「安全、安心な街を自らの手で」と設置を決めた。カメラが何らかの抑止力となり、被害の防止や犯罪機会の減少につながれば」としている。